避難している方・福島で働きたい方へ

平成29年 秋号

ふくしまで働く

平成29年9月12日
☎024(529)5438
福島労働局
職業対策課発行

「ふくしまで働く」は福島県内外に避難されている皆様や福島で働きたいと思っている方々に対して、就労、雇用の視点から福島県内外の支援策や求人情報等を発信するために厚生労働省福島労働局が発行している広報紙です。

特集

- 被災自治体首長からのメッセージ
- 震災後のわが社「株式会社メイコー福島工場」

福島県雇用情勢（平成29年7月）

有効求人倍率（受理地別）　1.44倍（全国26位）
（就業地別）　1.59倍（全国21位）

福島県内は、地域、職種別での偏りはありますが、総じて復興需要により仕事が探しやすい状況にあります。
個別の求人はこの通信のほか、全国のハローワークで検索ができます。

※有効求人倍率/ハローワークで仕事を探す人1人に対し、何人分の求人があるかを示す指標。1を上回っていれば、仕事を探す人より仕事の数が多いことになります。

復興にかける想い・避難されている方へのメッセージ

浪江町

馬場有 町長

こんにちは。浪江町長の馬場有です。

当町は、今年3月31日に帰還困難区域を除き避難指示解除を容認いたしました。一部地域に限りますが、ようやく6年の歳月を要しましたが町内の生活を再開することができました。震災前の賑わいのある町には戻っておりませんが復旧・復興を加速化し町の形態を一日も早く創建したいと考えております。そして帰還困難区域を解消できるよう除染し、インフラの復旧・ライフラインの復旧に努め町全体が生活再開できてはじめて町の再生・復興になります。当町は現在県内に14,500人、県外に6,500人の町民が広域分散避難を強いられておりますので、「町とふるさととの絆を維持」するため町の現状と動向等を広報紙・タブレット端末を駆使しており、全国7か所に復興支援員を配置し、町民への戸別訪問巡回、近況聞き取りのための電話による相談受付け、更に絆を深め合う交流会等の開催をしております。

次に、「生活再建支援」をするために、県内外の仮設住宅等から町内に帰還する世帯に対し、引越し費用の助成や賠償請求支援強化に努め、弁護士である当町職員（特定任期付職員）を配置し相談窓口を設置しております。また、帰還するために町内の住宅修繕、リフォームなどの費用の一部を助成し、災害公営住宅（町内・県内）並びに町内に賃貸公営住宅を建設して住環境整備を行っております。

一方、「持続可能なまちづくり」をするため町の産業を新たに創造しなければなりません。現在、請戸漁港を再生し、コンパクトな漁港修築を図り、市場施設新築・水産加工団地の整備を進めております。営農再開に向けて農地保全活動に対する助成や花卉栽培への新たな試みに対しての支援、新たな発想で農業分野に進出する企業の誘致を考えております。これら以外に、未来のエネルギー「水素エネルギー」製造施設の誘致、「ロボットテストフィールド」によるAI企業関連施設や研究施設等の誘致を通して雇用の創出を図りたいと考えております。更に、「次代を担う子供たち」のために子育て支援事業、避難先での就学（現在約600校へ区域外就学）支援を継続しております。来年4月には町内に認定こども園の開設、小中学校の再開も考えております。いずれにしても多種多様な状況におかれている町民の皆様に寄り添った施策を展開し「町のこし」を進めてまいりますので、町民の皆様はもとより復旧・復興に携わっている方々のご協力をお願いし、メッセージに代えたいと存じます。

広野町

遠藤智 町長

東日本大震災並びに原子力災害から6年が過ぎ、広野町は、町民の幸せに向かって共に歩むこの1年をふる里復興・再生『前進の年』と位置づけ、町の復興・再生への取組みが目に見える形で具現化できるよう、前進させてまいります。

広野町は平成29年3月末をもって、応急仮設住宅供与期間が終了し、帰還の節目の年を迎えました。6月末には町民の約8割となる4,000人が帰町し、帰還から発展へと、新たな町づくりのスタートを切りました。

震災以前は5,500人という規模であった広野町は、廃炉・除染関係者が約2,500人と双葉郡内からの避難者を加えた居住人口約8,000人、昼間人口にして約10,000人という人口動態へと向かっている中で、様々な問題を抱えながら行政運営にあたっています。

特に廃炉・除染関係者については、多くが住民票を町に移しておらず、様々な形で町に大きな影響を与えています。その数は人員の入れ替わりはあるものの、総数では横ばいとなっており、廃炉作業の完了に向けた30年から40年という長期にわたって相互理解し、共存していく必要があります。

今後の町づくりとして、震災以降、福島第一原発の事故収束拠点となり、営業を休止していたサッカーナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」が、平成30年夏に一部再開、平成31年4月全面再開を目指し、日本初となるグラウンド1面規模の全天候型練習場の整備をはじめとした復興プロジェクトを進めています。また、平成27年4月に県立の中高一貫校として開校し、現在仮校舎で授業が行われている「ふたば未来学園高等学校」の新校舎建設工事が、平成31年4月の開校に向けて進められています。

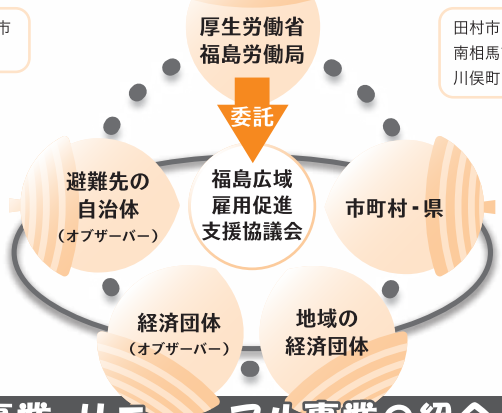
これらの要素を踏まえ、東京電力フュエル＆パワー㈱広野火力発電所が立地するエネルギーの町として、「命を守り、人を活かし、未来をつくる町」を標榜し、双葉郡内からの移住者や廃炉・除染関係者など、新たな住民との共生にも積極的に取り組み、若い世代が安心して移住や定住、子育てできるような町づくりを目指します。

福島雇用促進支援事業

福島広域雇用促進支援協議会とは

東日本大震災からの復興の一環として、雇用対策・就職支援の面から福島を支えていくために、福島県、被災12市町村、経済団体等で構成する団体で、平成25年度から福島労働局の福島雇用促進支援事業を受託しています。

福島県と被災12市町村を主な会員とする福島広域雇用促進支援協議会が福島労働局からの委託を受けて避難者の帰還就労のために様々な事業を実施しております。



福島市　二本松市
郡山市　新地町
いわき市
相馬市

田村市　広野町　川内村　浪江町
南相馬市　楢葉町　大熊町　葛尾村
川俣町　富岡町　双葉町　飯舘村
福島県

福島県商工会連合会
福島県商工会議所連合会
福島県中小企業団体中央会
福島県相双地方振興局

船引町商工会　広野町商工会
常葉町商工会　楢葉町商工会
都路町商工会　富岡町商工会
大越町商工会　川内村商工会
滝根町商工会　大熊町商工会
原町商工会議所　双葉町商工会
鹿島商工会　浪江町商工会
小高商工会　葛尾村商工会
川俣町商工会　飯舘村商工会

平成２９年度　ＮＥＷ事業　リニューアル事業の紹介

本年度は新たにワークショップも開催！より時代にフィットした事業を展開していきます。

未来を変えるコミュニケーション術

価値観が変わる！

福島・郡山・南相馬・いわき会場で開催。

あなたの「苦手」には克服法があります！人との関わり方や、信頼関係の築き方などの秘訣を教えます。

コミュニケーション能力はどんな場面でも必要です。お喋りが苦手な人も大丈夫！カードを使って誰でも楽しく自分や相手と向き合えます。

- 企業が求める能力のトップ！
- 就活の自己アピールがかわる！
- 人間関係改善！

もちろん無料です！

ビジネスシーンに合わせた仕事のスゴ技パソコン術講座

すぐに学べる！実践テクニック！

福島・郡山・南相馬・いわき会場で開催。

就職に有利！！即戦力をアピール！！仕事に求められる実践テクニック教えます。

ビジネスシーンで、採用で、求められるパソコンスキルとは一体……？初心者でも大丈夫。１５日間の講習です。

- 就活のアピールポイントを増やしたい
- 自分の「できる！」がハッキリする
- パソコンを使えるか自信がない
- 自己流をなんとかしたい

もちろん無料です。

就活ワークショップ　「求職者カフェ」

行きたいときにすぐ行ける！就活の不安をすぐに解決！

求職者の就職活動の状況に応じて、求職者のレベルに合わせ、応募書類や面接の対応、就活に必要な情報提供、ビジネスマナーやパソコンの基本的な操作などをワークショップ形式で提供いたします。

利用可能時間
10:00 ～ 18:00（月～金）
※何回利用しても**無料！！**

県内３拠点！

郡山地区 ➡ 内藤ビル３Ｆ（エヌケー・テック株式会社）
郡山市鶴見担 1-14-5 内藤ビル
（※内環状線沿い開成山公園隣、総合体育館そば）
問い合わせ先　TEL：024-926-1229

南相馬地区 ➡ 南相馬ジャスモール
南相馬市原町区大木戸金場 77
（※南相馬ジャスモール　TSUTAYA 内）
問い合わせ先　TEL：0244-26-4307

いわき地区 ➡ いわきニュータウンセンタービル（株式会社アカデミー）
いわき市中央台飯野 4-2-4
いわきニュータウンセンタービル1F
（※いわき市役所中央台公民館そば）
問い合わせ先　TEL：0246-28-8706

就職相談

福島県内への就職相談はコチラへ！

電話相談　平日　9:00 ～ 12:00・13:00 ～ 16:30
専用フリーダイヤル　**0120-810-650**

メール相談　**24時間受け付け中**
メール専用フォームはこちら ➡

窓口相談　予約制　上記フリーダイヤルにて承っております。
福島市中町4-20 みんゆうビル2F　Ⓟあり
平日　9:00 ～ 12:00・13:00 ～ 16:00

※出張窓口相談も随時開催しております。詳しくはお問い合わせください。

職場体験実習事業

～大人のインターンシップはいかがですか？～ あなたの"働きたい"を応援します！

就職へのone ステップ！

こんな方にオススメ！
☑ 面接が苦手な方！　☑ 新しい仕事にチャレンジ！

- 県内３７０社を超える事業所の中から選べます。
- 実習期間　１日から３日 ― １日だけ・見学だけもOK！
- 雇用保険受給者には参加証明書を発行！
- **参加無料!! 今すぐアクセス!!** ➡

福島県相双地域トライアルステイ事業と提携しております。
相双地域で就職を希望する方に、交通費の助成、宿泊等の支援 をしております。
詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ先等

福島広域雇用促進支援協議会　福島統括窓口
TEL：024(524)2121　FAX：024(524)2125

楢葉窓口	0240(23)6290	浪江窓口	0243(24)9310
双葉窓口	0246(84)6285	田村窓口	0247(61)5585
南相馬窓口	0244(26)7690		

ホームページアドレス
http://fkkoyou.net/
働きたいネット　検索
フェイスブックもチェック！
https://facebook.com/fkkoyou

株式会社メイコー福島工場
震災後のわが社　～忘れない、復興スピリッツ～

【事業所紹介】

所在地：福島県双葉郡広野町　　**事業内容：**電子回路基板の製造

双葉郡広野町にある私たち株式会社メイコー福島工場は、震災による原発事故により全員避難指示を受け操業停止に追い込まれました。各地に避難した従業員たちは、その後神奈川県の本社に設置した対策本部を中心に、互いに連絡をとりつつ、復興を目指して幾度にもわたって現地調査をおこない、インフラの復旧や放射線量のレベルを把握した結果、４月末には再開に向けた活動を開始しました。

最初はまず８名で復旧作業を開始しました。「こんなことで、これまで従業員一丸となって築いてきた福島工場を失うわけにはいかない！」そういう強い想いをもった８名は、まず設備の転倒やダクトの崩落などで歩くこともできない工場内の徹底的な片付けからスタートしました。未曽有の困難に直面したその時のメンバーの働きは凄まじく、わずか１週間で広い構内の片付け作業が完了しました。

また、中に入れなかった１か月半ほどの間に漏れた薬液が気化し、工場全体がサビだらけになったため、これも１週間かけて工場内すべてを磨きつづけました。そこまでしなければ品質的に合格点が出せない状況でした。

またお客様の注文には、ほかの生産拠点での代替生産で対応しましたが、生産工場の変更は、お客様にとっても大きな負担になります。それでも当社への発注を継続いただいたのみならず、後で工場が復旧した際に、再度福島工場に戻していただきました。このようなご支援が工場再開の非常に大きな原動力になりました。

その後避難指示が解け、工場の復旧が進んで、いざ従業員を呼び戻す段階になると、地元での住宅探しがさらに大変でした。ほとんどの従業員が自宅には戻れない状態だったので、何とか住むところを確保しなければなりません。しかし、残念ながら地元のアパートは、全国から集まる復興関係者がほとんど抑えていて借りられる余地はほとんどありませんでした。その中で毎日毎日不動産屋に通い詰めていくうちに、少しずつ物件がでてきて、やっと住める状況になってきました。今ではだいぶ住宅事情もよくなりましたが、それでもなお住居の確保には苦労しています。

防災の面でも、柱に筋交いを追加した補強工事や設備の転倒防止策のほか初動対応を判断するための地震計を整備しました。またグループ全体を対象とした安否確認システムも導入するなど、BCP 体制を大きく見直しました。

また、2015 年には工場敷地内の大きな空地を利用して、太陽光発電システムを導入しました。これにより震災以降、福島県や地元広野町が積極的に進めている再生可能エネルギーの普及による復興や環境負荷低減社会の実現に大きく貢献できると考えています。

このように、この６年間お客様や地元の方々をはじめご支援いただいている皆様のご期待に応えられるよう、製造部門も管理部門も必死で復興に努力をしてまいりました。ただ、やはり従業員には厳しさだけでなく、ゆとりや息抜きといったものも必要です。そのため、せめて食堂のエリアだけは従業員が心からゆっくりできる環境にしたいと思い、リラックスルームを開設しました。床を明るくし、熱帯魚の水槽もおき、マッサージチェアや血圧計なども用意しました。さらに食堂の大きなガラス窓に向けてカウンターと椅子を設けました。ここからは、太陽光発電システムが展望できるようになっています。

メイコー福島工場は、現在男性が約 100 人、女性が約 50 人の工場で比較的人数の多い工場です。これからも、広野やその周辺地区には徐々に人が戻ってくると思いますが、その時に私たちのような会社が活動していることで、少しでも不安を和らげ安心していただくことができればと思っています。

そして、このメイコー福島工場が復興の「モデル企業」となれるよう地域に活気を与えていきたいと考えています。

私たちの工場が、これまで復興のために頑張ってこられたのは、国や県、広野町などの地方自治体、お客様やお取引先様、近隣の企業様など様々な方々の支えがあったからこそと心から思っています。改めてお礼申し上げます。まだまだ、課題は山積していますが「忘れない、復興スピリッツ！」を肝に銘じ、今後も地域に根ざした良い工場を目指して皆で努力してまいります。

食堂コーナー

社屋及び太陽光発電所

復興にあなたの力を

U・Iターン 実績多数!

経済産業省 委託事業 **福島県復興エリア求人特集**

田村市　南相馬市　川俣町　広野町　楢葉町　富岡町　川内村　大熊町　双葉町　浪江町　葛尾村　飯舘村

避難指示等の対象である福島県の被災12市町村の事業者等の求人情報を特集し、地域内外の求職者の方々とのマッチングを支援します。

求人サイト「スタンバイ」に特設求人特集がオープン!

地図で仕事が探せるアプリ スタンバイ

スタンバイ 福島　検索

ふくしまで働こう!復興エリア求人特集 をクリック!

引越し代等をサポート　就職・転職にあたり、転居を伴う方には 転居支援制度があります!

※制度の利用には条件がございます。詳しくはご相談ください。

経済産業省委託事業 福島求人支援チーム応募事務局

事業運営会社：株式会社ビズリーチ

協力:厚生労働省福島労働局、公益社団法人 福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）

「こんな求人ない?」「履歴書の書き方が分からない」「実際に面接に行ってみたい」など、まずは応募事務局へお気軽にお問合せください!

0120-910-195 受付 ㈱ビズリーチ 平日10～17時

E-mail info.fukushima@bizreach.co.jp（24時間受付）

平成29年度福島帰還希望者就職支援事業

ふるさと・ふくしま 合同就職面接会 in 東京 2017

参加無料
事前申込不要

「ふくしま」で待っています

開催日時

10/7(土)
13:00～15:00（受付12:00～）

参加企業

福島県内企業 30社

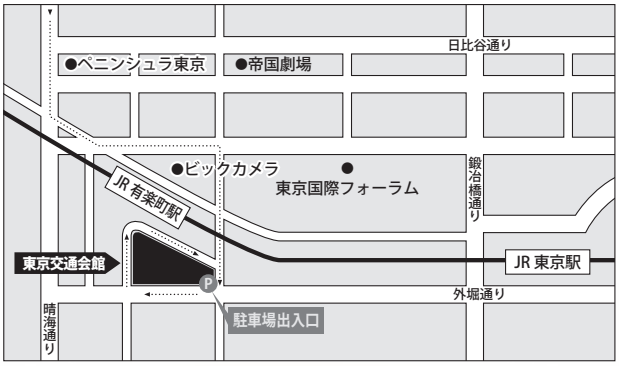
参加対象者

- ★ 福島県から避難している首都圏に居住している方
- ★ 首都圏の大学等卒業予定の方（既卒者含む）
- ★ 福島県での就職を希望する方
- ★ 福島県に興味のある方

多数の皆様のご参加をお待ちしております！

開催場所

東京交通会館 12階 ダイヤモンドホール
千代田区有楽町2-10-1



平成28年10月22日(土)東京国際フォーラムで開催した「ふるさと・ふくしま合同就職面接会in東京2016」の様子

福島県、公益社団法人福島相双復興推進機構
（福島相双復興官民合同チーム）
福島広域雇用促進支援協議会の相談コーナーもあります。

主催者HPはこちら　福島労働局　検索　http://fukushima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/

お問い合わせ
福島労働局　福島県福島市霞町1-46　職業対策課　☎024-529-5438
【主催】厚生労働省福島労働局　【共催】福島県

厚生労働省 福島労働局

HelloWork Internet Service
ハローワークインターネットサービス
求人情報検索
ホームページアドレス
https: //www.hellowork.go.jp/
全国のハローワークが受理した求人情報のうち、求人企業が当ホームページに掲載を希望している求人を検索することができます。
☑事業所名や電話番号を閲覧できます。　☑求職登録すると閲覧できる情報が増えます